

発行所
 特定医療法人五省会西能病院
 〒930-0884 富山市五福1130
 TEL (076) 441-2481 (代)
 発行人 西能 正一郎

五省会ニュース

五省

- 一 至誠に悔むなかりしか
- 一 言行に恥づるなかりしか
- 一 氣力に欠くるなかりしか
- 一 努力に憾みなきししか
- 一 不精に怠るなかりしか

節目と日本人の心

見えぬものへの畏敬の念を

兼久 文治

「十二・十二」と並ぶ平成十二年十二月十二日の消印をもらおうと、全国の郵便局で並んで見る人たちがいて、いかにも日本の風景だと思った。日本人は昔から節目(ふしめ)、ものの区切り、けじめを大切にす国民といわれるが、そこには、日本の四季が変化に富み、生活の大きなアクセントになっている。

旧い年から新しい年へ、大晦日から元日への節目を、人々はいろんな形で送り、迎える。

「十二・十二」とが深くかわつていく。節目は竹や草木のフシからきた言葉だが、同じ「節」の字はセツと読んで季節をあらわす。古代からこの気候の変わり目を祝日にしたり、節句、節分、節会など年中行事の日に当てる。お正月のお節料理もその一つだが、一年で最も大きい節目といえば、やはり新年だろう。

旧い年から新しい年へ、大晦日から元日への節目を、人々はいろんな形で送り、迎える。

川端康成の小説「美しさと哀しみ」とも晩年の作。主人公の作家が、京都で二十余年前の恋人と会って知恩院そばの料亭で除夜の鐘を聞くくだりから始まる。その鐘の音は「古い名鐘だけあって遠い世の底力が湧きひびくようだった」と書く。静けさの中に、これから始まるただならぬ波紋を秘めた息づまるような描写である。作家はこのあと黒い人影が歩き交う祇園の眺めの「おけらまいり」に行く。

ミレニアム(千年紀)が終わり、新しい二十一世紀がスタートした。今年の新年の節目は、百年に一度の特別大きい節目である。日本にあってどんな新世紀になるのか。去り行く世紀への思いがひとしお深いだけ、新しく開幕する舞台へ寄せる期待は大きく、不安もまた大きい。

米国的な物流と物質世界で、人間がもみくちゃにされねばよいが、IT革命の名の下に情報と機器を押しつけられ、振り回され、揚げ句に人が人である人の心を失っていかねばよいが、戦後から追いつけずきた日本人は、人の心や生命などに目に見えないものへの畏敬の念を失おうとしている。

外国の鐘は、中の舌(ゼツ)が網を引くと

内壁を鳴らし音は派手に外部へ発散する。日本の梵鐘は、撞木を外側から突いて音を内にこもらせ心の内をたたく。新年に渡す除夜の鐘の音を、心をときすまして聞きたいと思う。「祈る我にあらねど今年春や来ん」(句仏)(文芸評論家 富山市)

今年の新年のあいさつには、インターネットや携帯のメールで「という人が増えたが、例年通りの年賀状組がやはり大勢を占めている。」「たかが年賀状、されど年賀状」だ。この賀状にエト(干支)の図柄が多いのは日本独特の風習だが、今年もバ(み)年。へびは絵に描きにくく敬遠される図柄だ。▼そうでなくとも、昔からへびは執念深いか、気持ち悪いとか、まるで邪悪のシンボルのようになりがらされてきたが、へびにはいい迷惑。根はおとなしくて逃げ足は早く、毒へびでも自衛以外には進んで人を攻撃することは少ない。それどころか、カイコ飼育農家では被害の大きいネズミを捕食してくれる大切な生物だった▼昔から不思議な魔力を持つといわれて、いろんな伝説や説話の主人公になり、その霊力が神の化身になったり、家の守護神になったりもしてきた。霊力といえば戦前、インド人のへび使いの魔法と称する芸を見たことがある▼笛を吹くとそれにつれてツボの中からへびがチロチロ舌を出して踊り出す。視力も聴力も特別劣るへびがなぜ笛で踊るのか。実はこの舌が振動を鋭敏にとらえるためだ。さらに嗅覚の働きの舌でそれという。つまり、この魔法はへび使いがひそかに足で地面をたたいたのにへびが反応するらしい▼ともあれ、へびさん、新しい年の日本の守護を頼みます。

平成十三年

特定医療法人 財団五省会

会長	西能 正一郎
理事長	西能 正一
常務理事	中永 久光
理事	米田 寿吉
理事	稲垣 忠一
理事	森 政雄
理事	江本 清和
監事	石川 実
監事	寛田 英二
評議員	大上 紀美雄
評議員	神沢 幹夫
評議員	河上 弥一郎
評議員	西能 綾子
評議員	西能 孜
評議員	坂倉 ナミ
評議員	坂本 重一
評議員	笹山 真治郎
評議員	土田 亮一
評議員	山本 二郎
評議員	鷺山 浩一
評議員	渡辺 裕之
評議員	西能 涉

二十一世紀を迎えて

西能 竝

安全管理の対応など課題は山積

皆様 あけましておめでとうございます。新しいカレンダーの一枚目を捲り、新年を迎えることは、例年の通りであります。今年、特に二十一世紀のスタートの年で、新たな感慨を感じます。二十世紀の終盤は、バブルの崩壊に端を発して、日本の政治・経済・教育そして医療界も混乱し、激しい時代でありました。それ故に、新たな二十一世紀の幕開けには大きな変革が期待されます。

敗戦後のすさまじい経済復興により、経済大国と位置づけられる日本は確かにハード面は飛躍の時代を迎えることになりました。現在建設中の、介護老人保健施設みどり苑と近接して設立される西能クリニックは四月の開業に向けて、準備を進めております。富山県でもトップクラスの設備と介護サービスを目標と致しております。必ずや利用者の方々に満足して頂ける施設とならねばなりません。

一方、本院である西能病院も、更なる改革が求められております。厳しい医療界を乗り切っていくためには、まずは病院の存在意義を、職員個人それぞれが自らの存在意義を、一度考える必要がありますし、患者様が、何を求めて西能病院を選んで受診されるのかを思い、十分で満足な治療とサービスが提供されたか確認すべきであります。

医療とサービスの向上・医療事故の防止すなわち、安全管理の対応、患者様のアメニティの改善、IT革命への前向きな対応、医療情報の開示など課題は山積しております。

私にとって、法人の理事長として迎えるはじめての新年であります。リーダーとして今年からは、少しは厳しく、法人の運営を行って行きたいと思っておりますのでよろしくお願ひ致します。

頌

春

本年もよろしくお願ひ申し上げます

西能病院職員一同

らくらく介護用品

10車イス



体に合った車イスを選ぶには

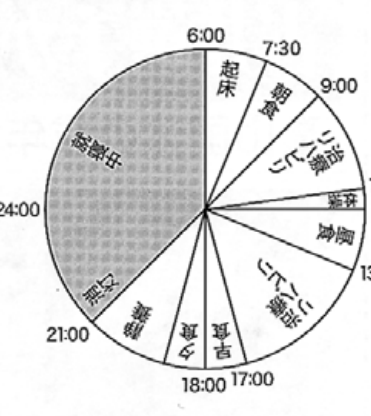
車イスは、使う人の世界を広げてくれるすぐれものです。股差を解消したり、廊下の幅を広げれば、家の中を自由に動けます。外へ出て散歩や買い物を楽しむを取り戻しましょう。

車イスの種類
車イスには、自走式、電動式、△電動式、三タイプがあります。

様々な機能
片マヒの人は、自走式で、レバーで駆動するタイプとハンドリムを回すタイプがあります。

介護保険の適用
車イスは介護保険の対象となり、レンタル料の割増がかかり、月八千円から二千五百円が利用者負担です。

療養型病棟の一日



「おはよう」の声で療養型病棟の朝が始まる。おむつの人は、交換してスッキリ。日に七回定時の交換があり、断えがあれば随時行う。間仕切りカーテンの向こうからは職員と患者様との会話が見える。

「生活リハビリ」
「部屋にばつかりいなくて、起きましょ」と、車イスでホールへ移動する人も、ちょっと大変だけれど、これがリハビリとなる。

「生活リハビリ」
「部屋にばつかりいなくて、起きましょ」と、車イスでホールへ移動する人も、ちょっと大変だけれど、これがリハビリとなる。

「生活リハビリ」
「部屋にばつかりいなくて、起きましょ」と、車イスでホールへ移動する人も、ちょっと大変だけれど、これがリハビリとなる。

「生活リハビリ」
「部屋にばつかりいなくて、起きましょ」と、車イスでホールへ移動する人も、ちょっと大変だけれど、これがリハビリとなる。

「生活リハビリ」
「部屋にばつかりいなくて、起きましょ」と、車イスでホールへ移動する人も、ちょっと大変だけれど、これがリハビリとなる。

「生活リハビリ」
「部屋にばつかりいなくて、起きましょ」と、車イスでホールへ移動する人も、ちょっと大変だけれど、これがリハビリとなる。

「生活リハビリ」
「部屋にばつかりいなくて、起きましょ」と、車イスでホールへ移動する人も、ちょっと大変だけれど、これがリハビリとなる。

家族や職員に励まされての一日
本年四月から介護保険が始まり、当病院でも二階病棟に、療養型病棟が設置された。現在、約五十人の患者様が入院、病院を一時の生活の場として、治療とリハビリに励んでおられる。病院側も、患者様への声掛けなど積極的にコミュニケーションを図り、体操や作業の時間など、変化に富んだ、質の高い生活をめざしてサポートしている。

「生活リハビリ」
「部屋にばつかりいなくて、起きましょ」と、車イスでホールへ移動する人も、ちょっと大変だけれど、これがリハビリとなる。

「生活リハビリ」
「部屋にばつかりいなくて、起きましょ」と、車イスでホールへ移動する人も、ちょっと大変だけれど、これがリハビリとなる。

「生活リハビリ」
「部屋にばつかりいなくて、起きましょ」と、車イスでホールへ移動する人も、ちょっと大変だけれど、これがリハビリとなる。

「生活リハビリ」
「部屋にばつかりいなくて、起きましょ」と、車イスでホールへ移動する人も、ちょっと大変だけれど、これがリハビリとなる。

「生活リハビリ」
「部屋にばつかりいなくて、起きましょ」と、車イスでホールへ移動する人も、ちょっと大変だけれど、これがリハビリとなる。

「生活リハビリ」
「部屋にばつかりいなくて、起きましょ」と、車イスでホールへ移動する人も、ちょっと大変だけれど、これがリハビリとなる。

「生活リハビリ」
「部屋にばつかりいなくて、起きましょ」と、車イスでホールへ移動する人も、ちょっと大変だけれど、これがリハビリとなる。

西能正一郎藍綬褒章授章記念祝賀会開催



二十世紀最後の秋の褒章で、藍綬褒章を受賞した西能正一郎会長の祝賀会が、十一月二十三日、全日空ホテルで開催された。

祝賀会は、各界からの多数の来賓と百五十名の出席者を迎えて盛大に挙行された。祝賀会発起人代表で、自衛隊地方連絡部連合会の会長高田真氏のあいさつに始まり、富山県理事富山市助役、富山県議会議員等、祝賀を述べた。

西能会長の授章は、二十四年間にわたる自衛官募集員に加えて、退職自衛官の再就職にも協力、また、海軍兵学校の経験を講演するなどの活動に對して贈られたもの。参加者からは、国民体育大会から、国民体育大会

はじめ各種スポーツ大会での医療支援などに感謝の言葉が送られた。西能会長は、今後とも自衛隊を理解してもらえよう活動に励みたいと謝辞を述べた。続いて三施設

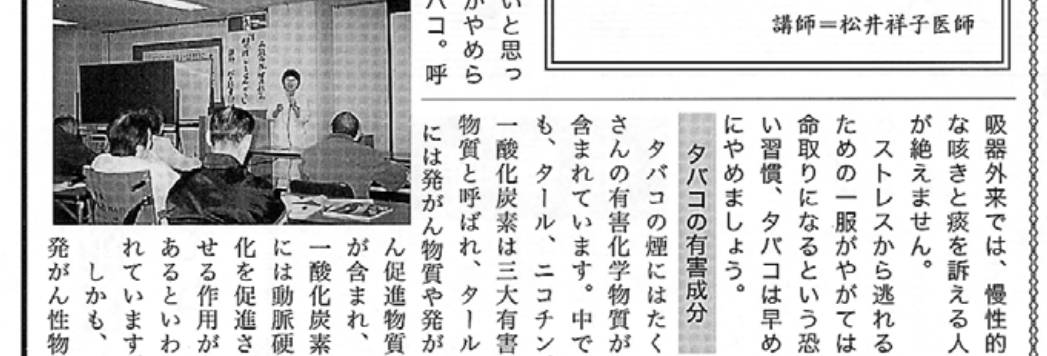
から花束・記念品の贈呈があり、喜びに満ちた声で職員をねぎらいつつ、三十八年になるが、今後とも地域に役立つ病院づくりに努めたいと述べた。坂倉元看護部長の乾杯の音頭で祝賀が始まり、なごやかに進められた。

「いまを生きる」
西能正一郎対談シリーズ

「いまを生きる」
西能正一郎対談シリーズ

「いまを生きる」
西能正一郎対談シリーズ

健康教室 禁煙しませんか



禁煙しませんか
講師＝松井祥子医師
体によくないと思っても、なかなかやめられないのがタバコ。呼ばれても、なかなかやめられないのがタバコ。呼ばれても、なかなかやめられないのがタバコ。

禁煙、応援します
禁煙成功の秘訣は、離脱症状をどう乗り越えるかです。水やお茶などで我慢したり、環境や行動パターンを変えることで対処するのが一番です。一般的には、離脱症状は二、三週間続きますが、この時期を乗り越えれば、成功はもう間近です。

「心ももったケアを」
みどり苑スタッフ研修中
四月開所をひかえ、施設建設・設備工事が着々と進む中、十一月二十五日より直前の三月二十五日まで全十八回の職員研修が開校されました。

「心ももったケアを」
みどり苑スタッフ研修中
四月開所をひかえ、施設建設・設備工事が着々と進む中、十一月二十五日より直前の三月二十五日まで全十八回の職員研修が開校されました。

「心ももったケアを」
みどり苑スタッフ研修中
四月開所をひかえ、施設建設・設備工事が着々と進む中、十一月二十五日より直前の三月二十五日まで全十八回の職員研修が開校されました。

「心ももったケアを」
みどり苑スタッフ研修中
四月開所をひかえ、施設建設・設備工事が着々と進む中、十一月二十五日より直前の三月二十五日まで全十八回の職員研修が開校されました。

「心ももったケアを」
みどり苑スタッフ研修中
四月開所をひかえ、施設建設・設備工事が着々と進む中、十一月二十五日より直前の三月二十五日まで全十八回の職員研修が開校されました。

「心ももったケアを」
みどり苑スタッフ研修中
四月開所をひかえ、施設建設・設備工事が着々と進む中、十一月二十五日より直前の三月二十五日まで全十八回の職員研修が開校されました。

「いまを生きる」
西能正一郎対談シリーズ

「いまを生きる」
西能正一郎対談シリーズ

「いまを生きる」
西能正一郎対談シリーズ

「いまを生きる」
西能正一郎対談シリーズ

